

教科(科目)	地理歴史(歴史総合)	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	山川出版社 『わたしたちの歴史 日本から世界へ』				
副教材等	第一学習社『ダイアログ 歴史総合』、山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年次、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを求める。</p>

3 指導の重点

<p>① 基礎的な歴史的知識の習得と定着を目指します。</p> <p>② 多様な文字資料・映像資料を活用しながらその読解力を養い、歴史的な事象への視野の広がりや理解の深化を図ります。</p> <p>③ 習得した知識や論理的思考をもとに、順序立てて意見を伝え合ったり、客観的な視点から意見を述べたりすることができる表現力の習得を目指します。またその活動を通じて相手に自分の意見を伝えるだけでなく、相手の意見を尊重することのできる姿勢・態度を育てます。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての意識を深めようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ ・小テストの分析、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・授業中の発言、作業への取り組みなどから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・プレゼンテーションや発表、討論への取組、また授業中の発言の観察などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・プレゼンテーションや発表、討論への取組、また授業中の発言の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・授業中の発言、作業への取り組みなどから、総合的に評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	歴史の扉 ・歴史と私たち ・歴史と資料	2	・身近な事柄と歴史との結びつきや、様々な制度や習慣の歴史的な構築過程理解する。 ・歴史叙述の基礎となる資料をその性格をふまえ批判的に読み取ることの大切さについて理解する。	a b a c	授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認)
4	近代化への問い	2	次の6つのテーマに関する諸資料をもとに問いをたて、その後の学習の見通しを持つ。 ① 交通・貿易 ②産業 ③権利意識と政治参加 ④ 学校教育 ⑤労働と家族移 ⑥移民	a b c	授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認)
4 5	18世紀の世界とアジア 考えてみよう① 「琉球と蝦夷地」	3	・18世紀のアジアにおける経済や文化の発達とヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ・江戸時代の産業発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する ・沖縄県と北海道の成立の歴史をそれぞれ「海上交易」「同化政策」との関わり・変遷から考察・理解する。	a b a b a c	授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析)
5	産業革命 アヘン戦争と日本 日本の開国 考えてみよう② 「江戸時代」	4	・イギリスにおける産業革命の進展と、それに伴う社会や暮らしの変化、民衆の反応について考察し、理解する。 ・アヘン戦争の原因と戦後中国の変化や欧米諸国の東アジア進出、江戸幕府の対外政策が受けた影響について考察する。 ・江戸時代の特徴を多角的視点から理解し、そこから日本が短期間で近代化を進められた要因を考察する。	a b a c b c	授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析) *第1回定期考査

5 6	日本開国期の国際情勢 開国後の日本社会 市民革命と国民統合 考えてみよう③ 国民国家と多民族国家	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が開国した頃の世界情勢（戦争・反乱）が開国後の日本に与えた影響を考察し、理解する。 ・開港が当時の社会に与えた影響を与えたかを考察する。開港前後における日本の政治状況とその変化を理解する。 ・18世紀欧米で市民革命がおこった背景を考察・理解するとともに、市民革命の地域への連鎖とその後の国民国家の形成の広がりについても考察し、理解する。 ・アジアにおける主権国家や国民国家形成の過程を、日本を事例として理解する。その一方で多民族国家という統合があった理由についても考察する。 	a b a b a b a c	授業プリント・ワークシート （記述の点検） 発言等の様子 （行動の確認） 小テスト（記述の分析）
6 7	明治維新 富国強兵と文明開化 日本の明治初期の外交 大日本帝国憲法の制定	5	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ・明治政府の富国強兵の具体的な内容を理解し、欧米の産業技術導入が日本の文化や生活に与えた影響を考察する。 ・明治初期の日本が抱えていた外交課題について考察するとともに、明治政府の外交の特色と成果を理解する。 ・自由民権運動の背景やその後の展開について考察し、大日本帝国憲法の制定過程と憲法の内容・特徴を理解する。 	a c b c a b a b	授業プリント・ワークシート （記述の点検） 発言等の様子 （行動の確認） *第2回定期考査
7	日本の産業革命と日清戦争 帝国主義 日露戦争と韓国併合	4	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業革命の背景や特徴を踏まえ、日清戦争の背景と戦争の経過及び講和条約の内容と影響を理解する。 ・帝国主義時代における世界分割の展開を理解する。 ・日露戦争から韓国併合に至る過程を理解するとともに、日露戦争の勝利が日本の外交とアジア諸地域に与えた影響を考察し、理解する。 	a b a b b c	授業プリント・ワークシート （記述の点検） 発言等の様子 （行動の確認）
8 9	今の私たちに繋がる課題①自由・制限/対立・協調 国際秩序の変化や大衆化への問い	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自由・制限の観点から、これまでの学習を振り返り、貿易に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。 ・対立・協調の観点から、これまでの学習を振り返り、幕末から1900年代の日本における政治対立に関する諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。 <p>次の5つのテーマに関する資料から問いを立て、その後の学習の見通しを持つ。</p> <p>① 国際関係の緊密化 ②アメリカ合衆国とソ連の台頭 ③植民地の独立 ④大衆の政治的・経済的地位の変化 ⑤ 生活様式の変化</p>	a b c	レポート、授業プリント・ワークシート （記述の点検） 発言・協議等の様子 （行動の確認）

9	大衆運動の芽ばえ 第一次世界大戦 第一次世界大戦と日本 ロシア革命とその影響 社会運動の広がり 国際協調 アジアの民族運動 大量生産・大量消費社会	9	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争後の世界的な大衆運動について、具体的な事件に即して理解する。 ・第一次世界大戦の背景、経過、特徴を理解する。 ・日本が大戦に参戦した背景と欧米諸国の反応、戦後の日本の経済状況の変化について考察し、理解する ・社会主義の特徴、ロシア革命の原因と経過、世界へ与えた影響について考察し、理解する。 ・権利意識の高まりのなかで日本でも普通選挙が実現したことを理解する。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴と大戦後の世界における日本の国際的地位の変化を理解する。 ・第一次世界大戦後のアジア諸地域における民族運動について、地域ごとの特徴を考察し、理解する。 ・第一次世界大戦後におけるアメリカ合衆国の経済的繁栄が生み出した大量生産・大量消費社会とその負の側面について考察し、理解する。 	a b a b a c a b b c a b b c a b	授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析) *第3回定期考査
10	考えてみよう④⑤ 「大衆文化としてのスポーツ、映画」 世界恐慌 独裁勢力の台頭 日本のアジア進出 第2時時世界大戦と日本 第2時世界大戦の終結	8	<ul style="list-style-type: none"> ・大衆文化としてのスポーツ、野球が日本で受容され、成長した背景やその影響について考察し、理解する。 ・アメリカで映画産業が発達した背景を考察する。 ・世界恐慌の原因と各国の対応について理解する。 ・ファシズム成立した原因とその特徴を理解する。 ・中国国民党を中心とする国内の統一過程と日本で軍部が台頭した背景とその影響を考察する。 ・第二次世界大戦のおきた原因と太平洋戦争勃発に至る経緯を理解する。 ・大戦による被害・犠牲と日独伊が敗戦に至った過程を考察し、理解する。 	a c a c a c b c b c	授業プリント・ワークシート (記述の点検) 小テスト(記述の分析) 発言等の様子 (行動の確認)
11	戦後国際秩序 冷戦の始まり 日本の戦後改革と日本国憲法 日本の独立 今の私たちにつながる課題②統合・分化/平等・格差	7	<ul style="list-style-type: none"> ・敗戦国における戦後処理戦後秩序の特徴を理解する。 ・冷戦開始の背景とその後の動向、アジアの国家建設への影響について理解する。 ・戦後改革の目的と成果について考察し、日本国憲法の制定過程や憲法の特徴について理解する。 ・社会主義台頭が占領政策の転換をもたらしたことを理解し、日本の独立後の問題点を考察し、理解する。 ・「統合・分化」の観点と「平等・格差」の観点から、これまでの学習を振り返り、探究した結果を表現する。 (具体的事例：クルド人問題、女性の権利獲得等) 	a c b c b c a c	レポート、授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析) *第4回定期考査
12	グローバル化への問い 第三世界の登場 冷戦の固定化と「雪どけ」 冷戦の展開	5	<p>次の7つのテーマに関する資料から問いを立て、その後の学習の見通しを持つ。</p> <p>① 冷戦と国際関係 ②人と資本の移動 ③食料と人口 ④ 高度情報通信 ⑤資源・エネルギーと地球環境 ⑥ 感染症⑦ 多様な人々の共存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戦後におけるアジア諸地域の独立過程を理解する。 ・冷戦構造の拡大と固定化が核軍備拡大競争につながったことを理解し、後の「雪どけ」の影響を考察する。 ・ソ連の政策転換の概要とキューバ危機を境に核軍縮が徐々に進んだ理由を考察し、理解する 	a b c a b a b a b	レポート、授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認)

1	55年体制と安保闘争 高度経済成長の光と影 ベトナム戦争とアメリカ 経済構造の変化 日本の経済大国化 考えてみよう⑥ 日本の政府開発援助	6	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦構造が戦後日本の政治に与えた影響について考察し、理解する。 ・高度経済成長による日本人の生活様式や意識の変化を理解し、高度経済成長のひずみと対策を考察する。 ・ベトナム戦争の経過、アメリカ国内の公民権運動とベトナム反戦運動の連動を理解する ・ドルショックと石油危機の背景と影響を理解する。 ・日本の経済大国化した過程とその後を理解する。 ・日本の政府開発援助の概要を理解し、対外援助のあるべき姿について考察する 	a c b c a b a b b c b c	レポート、授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析)
2	アジアの経済成長 社会主義の停滞と新自由主義 冷戦の終結と地域紛争 考えてみよう⑦ 国際平和維持活動	5	<ul style="list-style-type: none"> ・NIES や ASEAN の概要と新たな課題を理解する。 ・社会主義が停滞した原因について考察し、新自由主義の特徴と問題点を理解する ・ゴルバチョフの改革と東ヨーロッパ諸国の民主化の連動を考察し、理解する。 ・国連平和維持活動誕生とその後の展開を理解する。 ・日本のPKO参加とその問題点について考察する。 	a b a b a b a c	レポート、授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認) 小テスト(記述の分析) *第5回定期考査
3	地域統合 世界と日本の諸課題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結後の世界で地域連合の役割が大きくなったことを理解する。 ・現代世界と日本の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。 	a b a c	レポート、授業プリント・ワークシート (記述の点検) 発言・協議等の様子 (行動の確認)

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業の内容に応じて、授業プリント、ワークシートや課題に取り組みます。
- ・各単元のまとめとして確認ワークシート等に取り組み、提出してください。
- ・授業内容に応じて、ワークシートやレポートの作成を行い、提出してください。
- ・授業内容に応じて、作成したレポートやワークシートを使って話し合いやディスカッション、プレゼンテーションを行います。その際に互いの評価表等を作成し、提出してください。

8 担当者からの一言

「歴史総合」は世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解していくための新しい科目です。この科目の学習を通じて、我々の身近な問題や出来事の中に「日本と世界の歴史」を感じられるようになる良いと思います。